

---

# 幽靈ハンター

メロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幽靈ハンター

### 【著者】

メロ

### 【あらすじ】

幽靈ハンターが幽靈を蹴散らすぜ！

僕は幽霊ハンター、ケマル！！！

幽霊をぶつ殺すハンターなんですよ！

世の中には、悪い幽霊がいるんですよ！

そいつらをぶつ殺すのが僕の仕事なんです！

愛と勇気と希望があれば、悪い幽霊なんて簡単にぶつ殺せます！

今日も、悪い幽霊に困ってる人がいないかウナギのつかみ取りなど

の後、町をパトロール！

こういう、地味な活動が世界を救う！

今、世界は悲鳴をあげている！

耳を澄ませば、聞こえてくるんだ！！

イエイ！

「悪い幽霊に困っている人はいませんか？僕が悪い幽霊をけちらします！僕は強い！僕は、頭はおかしくないです」

幽霊ハンターはいつも鍛えているのですごく強い！

筋肉がすごすぎる！

パワーがあります！

こんなにパワーがある人なんていないんじゃない？

毎日重い石を上げたり下げたりしているから、すごいパワーが体に宿つた！

あと、悪魔のパワーも宿つたから！

でも、これくらいのパワーがないと悪い幽霊には通用しない！

悪い幽霊はすごく強い！

「畜生！悪い幽霊がいない！」

悪い幽霊はあまりいない！

ムシャクシャする！

そんな時はコンビニで休憩するんだ！

時には体を休めることも大事なんだ！

無理をすると、ストレスに心まで蝕まれる！

幽霊ハンターはコンビニで休憩！！！！！

コンビニで慣れ放題！

売ってる物、食べ放題！

吐き放題！

イエイ！

「いい、コンビニだ！幽霊もいない」

幽霊ハンターくらいになると、一皿で幽霊がいるかいなかわかる！

幽霊ハンターはコンビニの中でも、一眠りする！

疲れた時はこいつやって寝る！

寝ると体の中のマジックエネルギーが高まつて、靈パワーが活性化される！

8時間ほど寝たら目が覚めた！

8時間くらいが、靈的にはいい！

あまり眠りすぎると、首が痛くなる！

これは靈的な問題！

「幽霊ハンター！完全復活！！！！！」

眠りから覚めた幽霊ハンターは怖いぜ！

視力も上がる！

どんな悪い幽霊も見えちゃう！

隠れてもわかる！

コンビニでジュースを買った！

喉が渴くと困るから！

喉が渴いて弱ったところを、悪い幽霊は見逃してはくれない！

油断をすれば、悪い幽霊にやられてしまつ！

「幽霊を見つけよう」

幽霊が見つからなくて困った時は、インターネットで調べればいい！

インターネットはすごいから、なんでもわかる！

絶対に信用できる情報源！

幽霊ハンターの秘密アイテム、インターネット！！！！

「幽靈！インターネット！ロックオン！ていりやや  
インターネットは操作がすごく難しい！  
でも幽靈ハンターは頭が絶好調にいいから、操作できる！  
これは奇跡なんです！」

インターネットで、幽靈の捕まえ方がわかつた！  
山に行って、木に蜜を塗つて待つ！！！  
幽靈は甘い蜜に目が無い！

捕まえてみて、いい幽靈だつたら友達になつて、悪い靈だつたら  
ツハ3でぶつ殺す！  
「蜜をかいにいかなければいけない」  
蜜は甘くておいしい物で、スーパーとかで売つてゐる！！！  
スーパーにかいに來た！！！  
スーパーは広いので、歩いてゐるとくたびれますね！  
なんですかね？  
本当に嫌になりますね！  
何もかもが嫌になる！

生きてゐると、こういう人生の壁にぶち当たる！  
でも、あきらめちゃいけない！  
人生はまだまだ長いんだからね！

「ちくしょう！蜜はどこなんだ！」

幽靈ハンターは蜜がなかなか見つからなくて、苦しんだ！  
そしてカツとなつて、スーパーの売り物を次々に床に叩きつけた！  
床に売り物を叩きつけたら、少し気分が晴れた！  
あと、火をつけた！！！  
恨みの炎！

幽靈ハンターを迷わせるところなのだ！！！  
「蜜！蜜はどこなんだ！僕は命を懸けて蜜を探してゐるんだぞ！」  
幽靈ハンターはたまたま持つてゐた、ナタを振り回した！  
ナイススイング！  
メジャーでもトップクラスだね！

「いいスイングしてるね」

変な人が話しかけてきた！

「なんだ！この！」

幽霊ハンターのナタが炸裂した！

変な人は砕けた！

でも、元に戻ったから平氣だつた！

「お・・・おまえ！その、防御力！さてはバスの運転手か！」

こんなに防御力があるのは、バスの運転手しかいない！

「違う！俺は、野球のスカウトだ」

野球のスカウトだつた！

「野球のスカウトが俺に何のようだ！」

「すごいスイングだね！野球選手にならないか？お前ならすぐになれる」

野球選手にスカウトされた！

「じょうがねえ！やつてやるよ」

野球選手になることにした幽霊ハンター！

野球選手の幽霊ハンターだ！

幽霊ハンターの野球選手ではないぞ！

間違えたら、ホームランを打つぞ！

「君は野球のルールを知ってるか？」

「殺してはいけない、もしくは殺されてはいけない」

これが野球のルールだ！

「野球にはもつと沢山のルールがあるぞ」

「ルールか」

ルールで縛らなければ、幽霊ハンターは野球の歴史を破壊してしま

うのだ！

ここからは幽霊ハンタープロ野球編を楽しみしてくれ！  
寝違えてすぐに引退するぞ！

幽霊のせいだ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4859j/>

---

幽霊ハンター

2010年10月11日17時33分発行